

横浜市金沢区における区民文化センター基本構想 概要版

令和5年1月 | 横浜市金沢区役所

横浜市では、区民が身近に文化芸術に接し、幅広い分野の文化・芸術活動を行うことができるよう、金沢区における区民文化センターの整備に向けた検討を進めています。

金沢区ならではの区民文化センターの整備に向けて、重視する視点や望ましい機能、運営の方向性などのめざす姿について、また施設機能など、基本的な方向性、施設全体や各諸室における配慮事項等について整理し、基本構想としてまとめました。本書はその概要版となります。

横浜市の区民文化センターの概要 【第1章-1】

区民文化センターは、地域に根差した個性ある文化の創造に寄与するために、横浜市区民文化センター条例に基づき設置される「地域文化芸術活動の拠点」です。

金沢区の概要と特性 【第1章-2】

金沢区は、森、川、海といった自然環境に恵まれており、また、鎌倉時代から近代を中心とする史跡の宝庫となっています。まちの姿は変わりつつも、いつの時代でも地理的要衝の地にあり、その時々最新の生活文化が育まれ、金沢区の特徴をつくっています。人口は、平成18年以降緩やかに減少し高齢化が進んでいる状況です。金沢区心部（金沢文庫駅から金沢八景駅にかけてのエリア）では、まちづくりを進めるための3つの方策を設定した「金沢区心部まちづくり構想」を策定しています。

金沢区内施設・近隣施設の利用状況 【第1章-3】

金沢区内、隣接区、隣接市において文化活動に利用されている施設を対象とした利用状況をみると、ギャラリーは、市内には100~200㎡の中規模の施設しかありませんが、中小規模のギャラリーの方が全体の平均稼働率は高くなっています。また、音楽練習スペースについては、10名以下の小規模、11~30名の中規模の方が大規模よりも平均稼働率が高くなっています。

金沢区における区民文化センター整備の考え方と候補地の概要 【第1章-4】

■金沢区における区民文化センター整備の基本的な考え方

文化面から見た金沢区の地域特性も踏まえ、金沢区における区民文化センター整備は、金沢区心部（金沢文庫駅～金沢区総合庁舎周辺～金沢八景駅のエリア）で、金沢区内の交通の拠点のひとつである金沢八景駅前から徒歩圏にある整備候補地での整備を検討します。

区民ニーズを踏まえ、区民に必要とされている機能を中心に整備を検討します。また同じ金沢区心部にある金沢公会堂等と場所や機能について連携することで、金沢区における文化芸術活動のより一層の充実を図ります。

■整備候補地の概要

整備候補地は、金沢八景駅東口地区土地区画整理事業区域内2街区にある約800㎡の市有地としています。金沢八景駅からは徒歩2~3分の立地で、敷地の三面が道路に面しています。



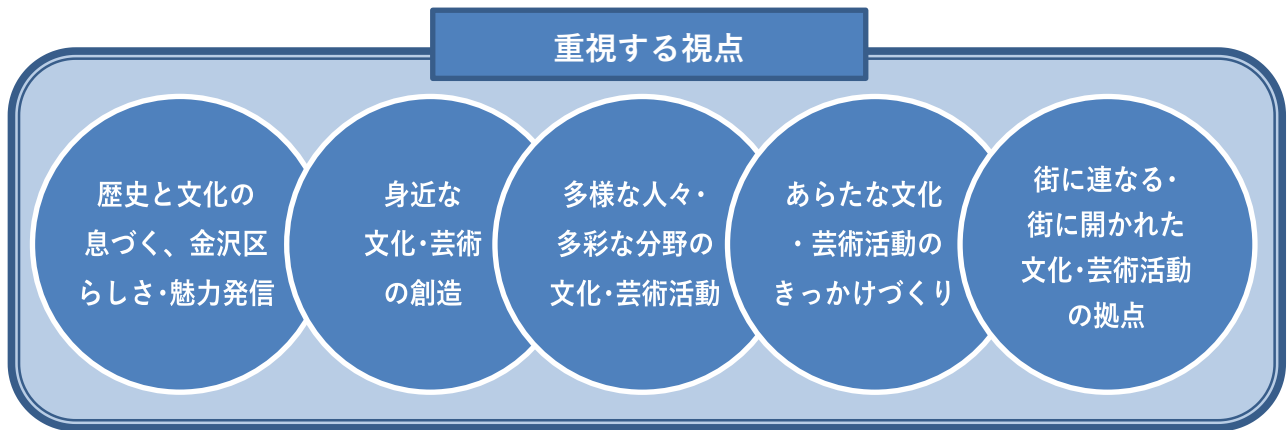
金沢区における区民文化センターのめざす姿 【第2章】

金沢区における区民文化センターがどのような施設となることを目指していくか、その将来像をコンセプト（めざす姿）としてまとめました。このコンセプト（めざす姿）を実現するため、「重視する視点」、「望ましい機能」、「事業(施設)運営の方向性」を設定します。

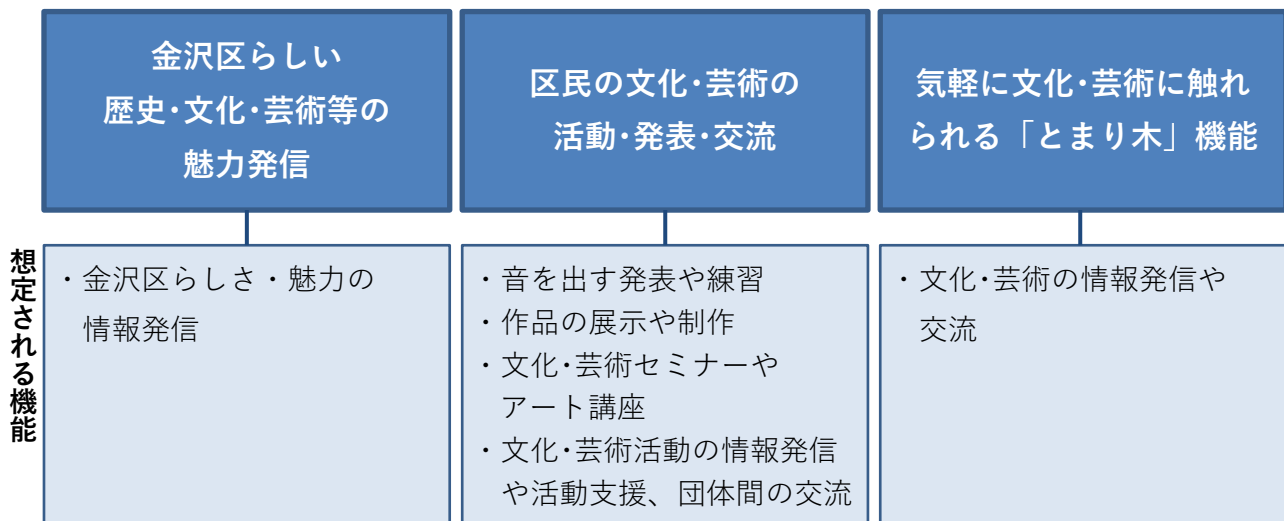
■コンセプト（めざす姿） 【第2章-1】

金沢区らしい、まちに開かれた、文化・芸術の創造・発信

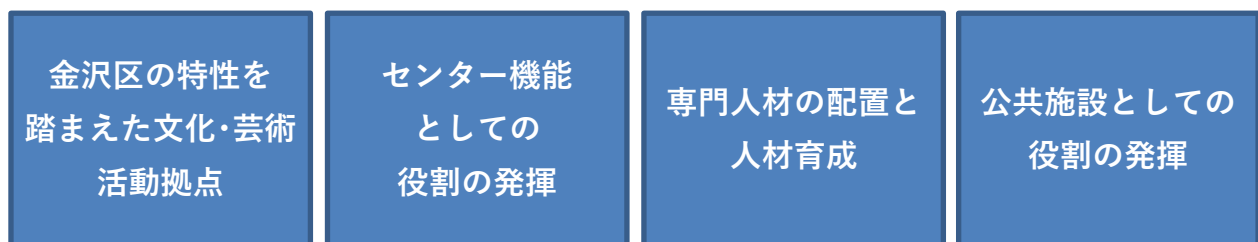
■重視する視点 【第2章-2】



■望ましい機能 【第2章-3】



■事業（施設）運営の方向性 【第2章-4】



■施設全体の考え方 【第3章-1】

コンセプト（めざす姿）を実現するとともに、単館での整備となるメリットを十分に発揮するために、街に開かれたデザイン、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりの工夫、特に1階の機能配置や設えに十分に配慮した施設となることが望まれます。

区民の文化・芸術活動が街ににじみ出し、新たな交流が生まれるような雰囲気づくり、仕掛けづくりが重要となります。そのためには利用者だけではなく、目的がなくても一人でふらっと、いつでも立ち寄れるような区民に親しまれる区民文化センターになることが望まれます。

●施設全体における配慮事項

<p>ニーズに合った 諸室の規模・ 配置計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模なホールは金沢公会堂・講堂の利用が見込まれることもあり、区内の市民利用施設に不足している展示スペース（ギャラリー）や小規模な発表ができる諸室（音楽多目的室等）を配置することが求められています。 ・文化・芸術活動団体の規模や利用者のニーズに合わせ、柔軟に対応できる諸室の設えが求められます。 ほか
<p>みんなを迎える グランドレベル の設えと工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢八景駅周辺のデザインガイドラインに則した、金沢区らしさを持った魅力的な外観となることが求められます。 ・歩道から建物に入るまでのアプローチ等の屋外空間は、単なる通路としてではなく、誰でも気軽に立ち寄れる区民文化センターの顔として、可能な限りまとまりのある広さを確保して「とまり木」としての役割を発揮するとともに、様々な活用ができるように配慮することが望まれます。 ほか
<p>やさしい設えと 工夫・利用しや すい動線の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安心・安全かつ快適に利用できるように、地上階から最上階まで段差なく移動できるなどのバリアフリー化、ユニバーサルデザインや感染症対策に配慮した施設とすることが求められます。また、デザインの工夫によるわかりやすい施設内表示とすることも望まれます。 ・一般利用として利用される部分だけでなく、企画主催の利用者や指定管理者が使用するバックヤード等にも配慮し、資機材や作品等の搬入・搬出のための段差の無い動線、倉庫の大きさなどは、十分なスペースを確保することが望まれます。 ほか
<p>駅前の立地特性 を考慮した 施設計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの工夫などで近隣の防犯やプライバシーに配慮した計画に努めることが求められます。 ・駅前の立地であることを考慮し、駐車・駐輪スペースは法令上必要な台数の整備とし、アプローチ等の屋外空間のスペースを確保することが望まれます。 ほか

■各諸室の考え方 【第3章-2】

各諸室の内容や整備にあたって配慮すべき点などについてまとめると、次のとおりとなります。

室名等	配慮事項
<p>音楽多目的室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前室を備えた防音仕様とし、音楽や演劇、ダンス等の練習、発表ができる舞台性能及び音響性能を確保し、舞台音響・照明・機構を備える。 ・100～150席程度の来場者用椅子を並べることができ、あわせて小規模な舞台を設えられるスペースが望ましい。 ほか

